

ホンドオコジヨ ほんどおこじよ

県指定天然記念物

指定 / 昭和50年(1975年)11月4日

所在 / 長野県下の冷温帯～高山帯

※地域定めず

分類 / イタチ科イタチ属オコジヨ種

保全状況 / 準絶滅危惧種

体長 / 約15～20cm 尾長 / 約5～7cm

体重 / 約160～200g

ホンドオコジヨは本州の東北地方から中部地方北部にかけての山岳、高山地帯に生息するイタチ科の小動物です。志賀高原ではその姿の愛らしさと、出会えることの希少さから「山の妖精」と呼ばれ親しまれています。しかし、気性が荒く肉食性であるため小動物や野鳥を捕食し、時にはノウサギなど自身より大型の獲物も狙います。

特定の縄張りを持ち、岩の隙間や樹洞に作られた巣穴で繁殖を行います。積雪時期に雪穴から上半身のみ覗かせて周囲を見渡す姿が印象的です。また年に2回、毛色が変わります。夏毛は背側が茶褐色で腹側が白く、冬は全身が真っ白な毛でおおわれ雪景色に溶け込みます。尾の先のみが一年を通して黒色です。

